



市川中HP

毎日を幸せと思えるように

▼本校では昨年11月に開催した全校道徳「ジェンダー平等を実現しよう」を皮切りに、スクールモットーである「一人一人が大切にされる学校」につなげるべく、「多様性や利便性を兼ね備えた制服（ユニバーサル制服）」の導入に向けての議論を始めました。▼そして本年6月には、最終となる「制服検討委員会」を開催し、投票結果と試着を踏まえての議論を尽くし、「新たな制服」が正式に決定しました。▼さらに、5月に行われた「第1回生徒総会」では、スローガン「チャレンジャーのもと、「SDGsを攻略せよ」「仲間とレベルアップせよ」という2つの活動方針を確認するとともに、「心得検討委員会」を発足して、新しい心得についての検討を行ってきました。そして、この一連の取組に総仕上げとして、10月26日6校時に臨時生徒総会が行われました。▼今回、執行部から提案されたSDGs市川中オリジナル目標「毎日を幸せと思えるように」を、生徒のみなさんがどのように捉え、どう行動していくか？そしてこの18番目の目標を踏まえ、新たな「心得」を、話し合いによって、どう作っていくか？これらは、とてもレベルが高く、意義のある大切な話し合いであることは間違いありません。▼討論の議事1では、SDGs市川中オリジナル18個目の目標を「毎日を幸せと思えるように」を全校一致で賛成し可決されました。その後、学校生活で「幸せと感ずることは？」というテーマで意見交流が行われ



生徒が心がけることを交流したいと本部から再提案され、ただ楽しいだけでなく困難にも負けずに取り組ん

でいくことの大切さが挙げられました。▼生徒会本部からは「毎日元気に学校へ通ってこられることが幸せだとは思いませんか？」と何気なく当たり前にやっていた学校生活に小さな幸せがいっぱいあることを気づかせてくれました。▼討論の議事2では、議事1の話し合いを受け、新「市川中のきまりの心得」（案）が話し合われました。服装についての意見として、「社会に出てからも身だしなみは大切」、「心得を守って安心安全に過ごせる」。頭髪については、「学校生活にふさわしい」、「この心得があることで全員が快適になる」等の意見が事前の学級討議を経て発表されました。▼また、要望事項として、「これはいいのかな？と迷う時



があるので、全校で確認する場がほしい」などが出ました。それに対して相川生活委員長より①「自分で考える」②「友達や先生に相談する。」それでも迷うときは③「学級会や中央委員会に出す」と段階を踏んで解決していけると答弁がありました。▼この他にもたくさんの方の前向きな賛成意見が出され、新しい心得は承認され、菅原生徒会長から「心得は自分自身を成長させるものだと思う。この心得は3年生にとっては直接関係ないかもしれない。でも、ここまで様々な意見が出たのは市川中生としての誇りであり、来年度への望み、そして願いがあったからだと思う。」とまとめの意見が出されました。▼討議後、生徒指導担当の村松弘子先生からは、1学期から生徒会本部と生活委員会での話し合いに向け準備を進めてきたこと、きまりを守るということは自分の責任であること、来年度適応される「心得」について卒業してしまう3年生が真剣に話し合ってくれたことの意義は大きい等の講評がありました。▼この時期に、このようなテーマに基づく「臨時生徒総会」を開くことの意義は大きく、2つの議案の「案」を生徒の皆さんが真剣に考えて責任を持って「消したこと」の意味はさらに大きいと思います。本当に中身の濃い素晴らしい話し合いでした。

